

院内がん登録とDPCを使ったQI研究（2014年症例）への協力をお願い
「がん診療均てん化のための臨床情報データベース構築と活用に関する研究」

(1) 調査背景

QI（Quality Indicator：医療の質評価）はがん対策基本法にうたわれている、がん診療均てん化について日本全国でどの程度の標準診療が普及されているかを把握、診療の実態を自ら検証するツールとして作成されてきました。院内がん登録とDPCで「診療の質」を判定するには限界も多いことには注意すべきだが、診療の実態を自ら検証することは社会的責任といえます。

(2) 目的・意義

院内がん登録とDPCを使った本研究は、診療を振り返るためのスタートやきっかけになることを目的として実施されます。提出データの結果の詳細は、参加施設へ個別結果をとしてフィードバックされ、自施設におけるPDCAサイクルなど質改善活動における一資料として活用できます。

(3) 調査概要

【集計対象症例】

当院における2014年にがんと診断され治療を行った症例

【集計方法】

当院の2014年院内がん登録全国集計データ提出時の対応表ファイルと2013年10月～2015年12月分の外来・入院のEF総合ファイルおよび様式1ファイルを国立がん研究センターから配布される「QI用症例抽出・匿名化ソフト」にて処理を行い、個人情報削除し、匿名化したファイルを提出します。

(4) 予測される利益および起こり得る危険・不利益について

個人情報については、当院のデータを国立がん研究センターから配布される「QI用症例抽出・匿名化ソフト」にて処理を行い、個人情報削除し、匿名化したファイルを提出します。

(5) 本研究の計画・運営

国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センター及びがん臨床情報部の共同作業で行います。事務局はがん臨床情報部が担当します。

(6) 当院における担当者

医療情報管理課	がん登録業務係	田村 純子
医事第二課	DPC管理係	小田 真大